

2010年度未踏IT人材発掘・育成事業
カメラ画像による楽譜認識を用いた演奏メディアの提案
~紙楽譜を直接演奏できる音楽インタフェースonNoteの開発と公開~
クリエイター：山本祐介(慶應義塾大学)



onNoteは、紙楽譜を直接演奏できる画期的な音楽インタフェースです。このシステムでは、カメラから撮影された楽譜画像からデータベースを用いた楽譜画像検索を行い、楽譜の種類と姿勢をリアルタイムに認識します。ユーザは、紙の楽譜をカメラにかざして動かすことで、好きな楽譜の好きな場所の音楽を好きな速度で演奏することができます。また、動かす、並べる、重ねるなど、紙楽譜ならではの自然な行為を積極的に演奏に取り入れることで、多様な表現が可能になります。